

## 信州中野おごっそフェア

### 取組に至る背景・事業の目的

中野市を含む信越自然郷エリアでは、北陸新幹線の開業により首都圏、北陸地域及び関西圏との交通の利便性が向上し、国内旅行者はもとよりインバウンドの誘客も期待できる状況にある。中野市近隣の市町村では、各地域の資源や特徴等を地域価値として活かした旅行者のための様々な受け皿が整備されている。中野市においても、地域の独自性を発揮できる農産物の生産が盛んであることや、多様な自然、歴史、文化が育まれてきたことから、他の地域を訪れる観光客等の通過地点ではなく、中野市を着地点に観光客等が訪れる取り組みが必要である。そのため、中野市の食を通して市外県外へ魅力を発信しPRすることを目的とする。

### 事業内容

- 開催日 令和元年 10月26日（土）、27日（日）
- 場所 中野市防災広場
- 内容
  - ・うまいもんブースでの中野市産の食材・農産物を使用したイチオシ！メニューの販売
  - ・おごっそ！す〜ぷ令和版の開発・販売
  - ・AMAZAKE フェア（甘酒飲み比べ）＋発酵食品文化のPR
  - ・JA youth Marche（農産物の販売とネット販売PR）
  - ・ご当地ヒーロー倍増戦士ロゼショー（おごっそフェア版シナリオ）
  - ・YEGノDASHIMONO（オリジナル看板メニュー開発・販売）
  - ・N-1グランプリ（事業者自らプレゼンする食のコンテスト）
  - ・他の団体事業（SEA TO SUMMIT）、地元高校生との連携
  - ・QRコード決済の推進PR、SNSを活用した広報活動 他



【おごっそフェア会場】



【AMAZAKE フェア】

### 事業効果

- うまいもんブース出店者数 40者
- 来場者数 10,015人
- 市外県外来場者割合 44.9%

令和元年東日本台風の災害に当地域も見舞われ、様々なイベントが中止や自粛せざるを得ない雰囲気の中、「おごっそフェアを開催し、前に進めていく事を復旧復興のシンボルとしたい」という思いで開催し、ほぼ予定どおり事業を実施することができた。事業者の中には被災され、出店を取りやめる方もあったが、ほぼ前年と同数の出店が得られた。

来場者数は目標の16,000人に達しなかったが、このような状況下でも10,000人を超えることができた。また、他団体と連携した企画やSNSを活用した広報活動の結果、通年でのフォロワー数の増加と、市外県外からの来場者及びリピーターの増加につなげることができた。アンケートでも86.1%の方から再訪したいという回答をいただいた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

例年10月に中野市で食のイベントを開催しているということが、市内外に認知され始めたが、さらなる地域資源の魅力発信・事業者の販売促進のため、また、継続によるマンネリ化防止のためにも、過去に培った知識や経験を活かして常に新たなチャレンジを試み、事業を継続して実施していく。

また、中野市・おごっそフェアのファンを増やしリピーターを保持することで、今後の交流人口の拡大と地域活性化につなげていく。

#### 【選定のポイント】

開催直前に令和元年東日本台風に見舞われたが、出店者等の理解と協力を得て、ほぼ予定どおりフェアを開催し、地元事業者や住民の大きな励みとなった。SNS等での情報発信の強化によりイベントの認知度も向上しており、地域の魅力発信とともに観光客の増加、産業振興が期待される。

団体名 信州中野おごっそフェア実行委員会(中野市)	事業タイプ ソフト事業
連絡先 0269-22-2191 (信州中野商工会議所)	事業費 21,712,810円
ホームページ <a href="https://www.ogosso.nakanocci.or.jp/">https://www.ogosso.nakanocci.or.jp/</a>	支援金額 4,400,000円
メールアドレス ogosso@nakanocci.or.jp	